

1. 会の全体的な感想について

非常に有意義だった	・・・	54.6%
それなりの意義はあった	・・・	39.2%
あまり意義は感じられなかった	・・・	0%
期待はずれであった	・・・	0%
無回答	・・・	6.2%

2. ディスカッションの内容について

Q ディスカッションの内容についての感想を教えてください。

(テーマ設定・司会者の進行方法等)

最も多かった御意見

- (1) 議題が抽象的であったため、議論が深まらなかったり、方向感が定まらなかった。
- (2) 第1セッションがフリー、第2セッションが専門という構成が良かった。

ご意見有難うございます！(スタッフの考え方)

ディスカッションの議題は、スタッフ同士の打ち合わせでも、最も議論を重ねた点です。具体的には、広がりのある自由な意見交換と特定分野に対する深くつっこんだ議論。どちらを優先するべきかという点について。

その結果達した結論が、両者を両立させつつも前者に若干重きを置くというものでした。その際主に考慮したのは以下の2点です。

仮に[外交][環境]といった具体的なテーマを設定しても、それはそれで極めて多様な切り口、分野があるため、きりが無いこと。

特定の政策分野について「知識の切り売り合戦」を促すようなテーマよりも、自分自身の生き方・ビジョンをぶつけ合うほうが、有意義ではないか、と判断したこと。

この結果、第1・第2セッションでメンバー構成に工夫を持たせつつ、全体のテーマは「Exit Policy」という抽象的なものにとどめさせて頂きました。

上記以外の御意見

<改善すべき点>

- ・ "Exit"の意味が少し分かりにくかった。しかし、ディスカッションの内容は意外と盛り上がった。
- ・ 「自分自身の経験やビジョンについて話す」のか、「様々な政策課題についての

一般論について議論する」のか、はっきりしなかった。会の趣旨からすると前者なのであろうが、その点がスタッフ全員の共通認識となっていたのか疑問を覚えた。

- ・ スタッフの方が上品過ぎて色々な話題に耳を傾けすぎると強く感じました。もう少し積極的に議論を整理・誘導されても問題ないと思います。
- ・ テーマについては同じ興味分野を持った人と話したほうが議論が深まって楽しい。
- ・ 出来ればもう少し簡単な（専門的な知識を必要としない）テーマ設定をして頂ければと思いました。
- ・ フリーディスカッションなので色々な論点の芽が出てきたのが面白かったが、1つ1つの論点についてじっくり話し合う時間が足りないのは残念だった。
- ・ 基調講演ほどでなくても、誘導部分があったほうが良い。
- ・ 自分の興味分野のテーブルを選びたかった。
- ・ この場で討論討論したことがどうなるかが気になります。単なる交流に終わらないようなテーマ設定・進行評価を希望します。
- ・ ファシリテーターが発言者の役割を兼ねてしまうと、メンバーの話が引き出しにくくなりがちになるのではないかと。
- ・ テーマを設定して、それについて何らかの結論（単に言い合いだけでなく）を導くようにするほうが、有意義なディスカッションになるのではないかと。
- ・ 同じ分野に関心がある人がいたので非常に有意義だった。
- ・ 多様な背景の方と出会えた点で自分の見識を広げられたと思います。
- ・ 自分自身を見つめなおす良い機会になりました。テーマ設定など非常に良かったと思います。
- ・ グループの司会の方は面白いし、工夫されていた。全体の会の仕切りはイマイチ。班のプレゼンは趣旨にそって「自分はどうしたいか」という内容に統一すべきだった。抽象的な政策課題についての問題意識は本日のテーマでなかったはず。
- ・ テーマは良かったが、テーマに沿って話ができなかった。
- ・ テーマを明確にし、メンバーもそのテーマに興味のある人々を集めたほうが、具体的に話をする事が出来ると思う。
- ・ 1回目のディスカッションでは、関心が広すぎてしまい、まとまりがなくなりがちでした。比べて2回目は関心分野の近い方が集まった事により、議論を深める事ができたと思います。
- ・ 去年のような興味分野ごとのディスカッションのほうが、自分にとっては話やすく、密度の濃い議論になるように感じました。

<良かった点>

- ・ テーマを限らず、第1部は多様な価値観を持った方が集まって、第2部は同様な興味を持った方が集まって、それぞれ面白かったです。進行にもう少しまとまりがあったらよいのでは、と思いました。
- ・ 公開できないような政治の「裏話」を聞いてよかった。

- ・ 全員参加で良かった。
- ・ テーマはテーブル毎に自由に設定されていたので、様々な人のお話を聞いたのがよかったと思います。
- ・ 今回はテーマが大きくて、収束は難しかったけど、それなりに面白かった。
- ・ 色々な考え、知識が聞け有意義であったが、テーマが個人の問題提起から脱線して戻りづらいときもあった。
- ・ とても楽しく議論することができました。有難うございました。
- ・ 公共事業・特許・教育等々、普段こうしたフリートークをすることがないので良かったです。
- ・ 新鮮な話し合いだった。
- ・ 第1セッションがフリー、第2セッションが専門という構成は良かった。
- ・ みんな未来志向になれば地球はもっとステキ
- ・ 子供、障害者、介護の問題は地域の協力なしには、解決できないというところへ。地域の協力は地域の再なくしては達成し得ないが、地域が住まい=寝るところという位置づけに留まっている限り難しい。「働く場所」しての位置づけが必要。
- ・ 様々な業種・官庁の方の話が聞けてよかった。
- ・ 様々なバックグラウンドの人の得意分野の話が出来て面白かったです。
- ・ フリートークでお互いの考えていることがわかり、刺激を与えあえたと思う。
- ・ 発言の時間割が非常にうまかった。
- ・ 自分のやりたいこと、夢を語れたのでとても話しやすかったです。且つ、各々一番個性の出るテーマ設定だったと思います。
- ・ 第1部に関しては、漠然としていて、且つ興味分野の異なる人たちのグループだったのでどんな議論になるの??と思ったが、逆に違うバックグラウンドの人たちの意見が聞けて刺激的だった。
- ・ それぞれが抱えている社会の問題と個人の問題について議論することができた。
- ・ 色々リンクしていて面白かった。ファシリテーションもばっちりだった。しかし議論が広がりすぎた気がした。
- ・ テーマ設定に拘らず、ざっくばらんに話せたので有意義だった。
- ・ やってみたい事ではなく、できること、したいことといった視点が良かったです。
- ・ 地域 - 東京のリアルな相違、男 - 女のリアルな相違について、解決策を議論することができた。
- ・ 色々な方に出会い、また話せたことが何より有意義でした。
- ・ 分かりやすく楽しかった。
- ・ テーマは特別設定せずに、フリーのディスカッションであったため、結論は出なかったが、普段考えていることを割ってしゃべることができたのは良かった。
- ・ 今回のように特定のテーマを設定せずに行ったほうが、様々な分野の人が集まりやすくよい。
- ・ フリーディスカッションから「地域コミュニティの再生」「経済中心の価値観の改善」「労働時間短縮による幸福感」へと興味深い議論ができた。

- ・ 全体としてお茶をしている感じだった。和気藹々として良かった。
- ・ 机ごとに担当の方が全員に発言を促すように配慮して頂いた結果、様々な立場から話しが聞けた。
- ・ 基本的にはブレインストーミングの形式で、色々な視点や考え方を肌で感じられて良かった。
- ・ 楽しかったです。また機会があれば参加します。
- ・ グループリーダーの方がいらして頂けたので、進めやすい形式になっていたと思います。
- ・ 第1セッション=面白くは無いが、色々な意見が聞けた。 第2セッション=テーマが共通なので盛り上がる。
- ・ 皆の共通認識から、問題意識を抽出し、それに対する解決策、今後の課題を示すことができたと思います。

3. ディスカッションの形式について

Q 次回希望するテーマ・形式について教えてください。

最も多かった御意見・・・回数を増やしてほしい！（年に2回～3回やってほしい）

ご意見ありがとうございます！（スタッフの考え方）

多数の方からこのようなご意見を頂き、スタッフとしてこれ以上嬉しいことはありません。ただ、現状のマンパワーではこのような規模の会は年に複数回催すのは実際、困難であります。

もちろん「案内状」でもご紹介させて頂いた、テーマ別の少人数勉強会（「経済金融勉強会」「NPOと行政の若手勉強会」）は月に1回ペースで催しておりますので、興味のある方はスタッフまでご一報いただければと思います。また、「こんな少人数勉強会はどうだろう？」といった企画・提案等ございましたら、クロスオーバーのメーリングリスト等をご利用いただいで発信していただければと思います。

上記以外のご意見

- ・ 環境
- ・ 社会保障、社会的安定（少子化・雇用問題・産業競争力の確保）
- ・ 今回のやり方が非常に良いのではないかと。ただし、出口に向けた議論をすることが必要。
- ・ 次世代の社会にとって今解決すべき問題は？
- ・ 特定の業種について
- ・ 花見、バーベキュー@浜辺
- ・ 共通の興味・関心のある人を募った上でのディベート。
- ・ 政府の決定できる立場の人と直接話をしたい。政府の方はグローバルな視点で考えられると思うので、庶民の意見や政策提案を具体的に伝えたい。

- ・ 今回と同じように何でも議論できる抽象的なもののほうが良い。
- ・ 起業、自己ブランド戦略
- ・ 政治全般
- ・ 何かアウト-プットが出ると良いと思います。また、何が参加者に具体的に得るもの（非金銭）が必要と思います。
- ・ フリートークでよいのかと思います。
- ・ 意識改革
- ・ 年に数回開いて頂ければ楽しいのではないのでしょうか？
- ・ 「楽しい地球」
- ・ 同じような形式がもう一セットくらいあればよいのでは？
- ・ 自分の生き方 日本人の生き方は？
- ・ 金融問題
- ・ テーマを出来る限り絞って欲しい（"朝なまテレビ"みたいに）、浅く広くより深く狭く
- ・ スタッフの方に負担になってしまうのですが、一般的な議論の内容を2ページほどまとめて頂いた上で、「年金をどうするか」「公共事業をどうするか」といった誰でも何か発言できるテーマをお願いします。
- ・ 参議院選挙のマニフェスト
- ・ 事前テーマ設定を具体的にを行ったほうがよいのではないか。会の趣旨をもっと理解して参加すべきであった。
- ・ 福祉活動に関するボランティアとビジネスの違いについて
- ・ アジア
- ・ 「日本人」について（"心"をテーマに）
- ・ 「人生における仕事について」 - 仕事 VS プライベート等。仕事をどう捉えるかについて議論してみたい。
- ・ 仕事とプライベートの連携で日本を変える？
- ・ ワークショップ形式はどうでしょうか？付箋や模造紙等を使って。
- ・ 「異業種交流会」に参加して自分に起こった変化など。
- ・ 美しい国、日本をどう造っていくか。
- ・ 地域行政
- ・ 男女共同参画、仕事に対する今の想い、自己実現とは？
- ・ 形式ははじめフリートーク、次に関心に基づいてトークという今日のものが良いと思います。
- ・ 医療、年金
- ・ 日本の安全保障
- ・ 公（おおやけ）とはどうあるべきか？

5 . "EXIT"に向けて

Q "Exit"に向けて・・・今日の会を通じて得ることのできた「気づき」・「きっかけ」を教えてください。

- ・ アフター5に色々やりたい人は多いですが、皆さん仕事を遅くまでやっているようではなかなか大変なようです。「時短」が大切かもしれません。
- ・ ボランティアの企画でこれだけの人間を集めて盛大な会をつくり上げたことに敬意を表します。スゴイ！今後も（& 2次会も）楽しみにしております。本日は有難うございました。
- ・ 自分のやりたいことに対する指針を得られたこと。
- ・ まだ分からない。ただ、新しい人が参加してくれる事は、すごく良いことです。
- ・ 自分の周りでは、政治について関心のある人、無い人のムラがあり、無関心層の多さが問題とっていました。ここにいる人は、元々関心のある人だとは思いますが、一人一人は色々考えていて、このように他人と話すことで意識が上がることは良いと思いました。年齢が上がって、しがらみが多くなっても、利害の無いディスカッションができる場を持ち続けることができれば良いと思う。
- ・ 自分の志望動機が改めて再確認できた。今後の場をそのものが、大切だと実感しました。今後もこのつながりを生かすために、イベントの紹介の場としても利用できればよいかなと思います。
- ・ 今後の経済発展、社会の安定のためにも「教育」は重要である。ただ、現在の「教育制度」にいかにか揺らぎを多元化してくかの方法論について、より具体的な議論を重ねて行きたいと思います。
- ・ 社会目標の設定は必要。もう少し、経済に寄与する自己負担の議論があってよい。「誰が悪い」というマインドから「どうしたら、何ができるのか」という世論マインドの転換が必要。
- ・ 確実に世の中が変わっていることを実感した。
- ・ 1回目のセッションで公務員にはマスコミに対して、不信感を抱いている方が多いということが分かった。
- ・ 2回目の財政について、流れとして小さな政府思考の強さを感じた。全体を通じて意見が利害に流される傾向を感じた。
- ・ 「行革」というと効率化、Section再編、というイメージで捉えられている。
- ・ みんな色々と考えていて面白いです。役人の役割を皆がきちっと認識していると思いました。
- ・ 自分の勉強不足。異なる Background の人と議論し、新たな視点を見出すことができた。
- ・ 同世代の人は、概ね同様のことを考えている。
- ・ 政治家に対する期待の高まりは、一つのEXITではないか。
- ・ 政府の方が皆さんがどう思っているのか聞きたいと、何度も、何人も言われたのか印象的だった。もっと、政府の方に話したいことがありました。企業の中にも、たとえ

ば環境のようなモチベーションを持ち続け、声を出し続けていくべきとの話にはそうありたいと思った。

・ こんなにも色々異なる世界の人が集まって議論できたのは、視界を広げる意味があった。役所の若手の人々が考えていることを聞いたことは新鮮味があった。

・ 自分の仕事以外の話を聞くことができ、視野が広がった。

・ 自分の考え・興味・目標を明確にしていき、自分ができる行動を起こしてゆかなければならないと思った。

・ 志を持っている人たちの会話は本当に面白かった。

・ 議論することの素晴らしさ

・ 正直"Exit"は大変に困難な状況にあると思いますが、会に参加して多くの方が問題意識をもってどうにかしようと考えているので、少しずつでも良い方向に向かう兆しが見えてきました。

・ キャリアと人と、二種・三種の人々、どんなことを考えているのかイメージをもてた。少し親しみがわいた。

・ 日本の未来は明るいのでは？

・ 政・官・産・学の横をつなぐ回廊の必要性を痛感しました。

・ 専門としている分野を知らない人の意見は新たな切り口で新鮮だった。

・ 色々な考え方に触れる事が出来て楽しい時間を頂きました。有難うございます。

・ ちょっとしたビジネスを思いつきました。もっと色々な人とお話したいな。

・ 高いモチベーションを持ち続けていくことが必要だということ。そして一人一人の意識で世の中を変えていけるのではないかと、という確信。

・ 幅広い知識が必要だということ。

・ メールだけでなく、顔をあわせて話す機会はとても良い。

・ やはり最終的には一人一人の意識の問題につながると思いました。

・ 医療問題について、深く再考したい。

・ 議論をすることに慣れてる方々と知り合えたことが良かった。

・ 各分野の話を幅広くききながら、問題意識の高い方が多くとてもよい刺激になった。

地域の再生・公共事業など、誰でもかかわりがある問題について、それぞれの分野からの意見があり、ものの見方が多面的になり有意義だった。

・ 目の前の自分の仕事をさしあたり頑張っていこうと思いました。

・ 異業種交流は必要ですね。持っている視点・情報が全然違います。

・ このような「絶妙に議論しやすい場」が存在するとは知りませんでした。

・ 私が理想と考えていた形・中身の会が実現できるのが嬉しい。今後に期待します。

・ 熱く語る若者が多いということが、明日の日本の希望になればと思いました。

・ 話すことだけでなく、行動することの大切さ。

・ まだまだ自分には国全体を見渡すような視点が足りないと分かったことが収穫だった。

・ まず3年は働く。経験者の方の話は説得力がありました。

・ 官庁も民間企業でも仕組み等は違って、同じような組織課題があると思いました。

・ 概して、民間企業の方のほうが、役所づとめの人よりも、プロフェッショナルな意識

を持っているという印象を受けました。

- ・ 視野が広まりました。一企業人としてでなく、国の民として考え方についても大いに刺激を受けました。

- ・ 今後も「会」は拡大化していくと思うので、もう少し広い会場を借りては如何でしょうか。

- ・ 様々な分野間の交流の大切さ = 視野が広がり、考え方が柔軟になる。今後も各自が意識して続けていくべきだと思う。

- ・ 人脈は大事！

- ・ 現実を見つめて、自分のやりたいことをやる。物事には必ず一長一短がある。

- ・ 「情熱」をもらいました！自分も「再始動」します。

- ・ それぞれの立場で働かれている方々を通して、「働き（仕事・業種）」を知ることができました。

- ・ 色々な考え方の人がいるなあ、と思いました。皆さんのアクションが参考になりました。

- ・ 今日おもったこと、持った気持ちを10年後・20年度も忘れないでいきます。

- ・ 株式の話が最も興味を引きました。農水省だとどうしても経済に弱いのですが、農業経済を考えることが重要であると知りました。

- ・ 自分の知らない分野で活躍されている方のお話を聞いてこれからの自分の仕事に活かせるのではないかと感じた。

- ・ 尊敬される人ではなく、あこがれの人になること！これを目指していこうと思います。

- ・ 本日の参加者が協力すると世の中も変わる気がする。

- ・ 自分の枠にとらわれないこと。

- ・ 自分の専門分野の知識をよりコンパクトに身につけるための方向性

- ・ 意識の高い人と議論することにより、モチベーションを高めることができた。

- ・ セクショナリズムは民間でも行政でも変わらないなあと思いました。

- ・ 日常社外の方と接する機会が少ないため、見落としがちな観点・意見を受けることができたと思います。特に官民交流ができた点。

- ・ Experienceについては、学生なので周りの方よりも見劣りあるものだったと思うのですが、幅広い観点から議論について考察していった、と思います。仕事は与えられるものではなく、手に入れるものなのだ、と思いました。

- ・ 考えること。シンプルですが

- ・ 全て人と人とのつながり、わかりあうこと、歩み寄りが必要であると思いました。人生は目的意識を持って努力すれば、より良いものになるし、他人のことを皆が考えれば、世の中も良くなるのではないかと感じました。

- ・ 自分の就いている職を通じてどのような問題解決ができるのか、皆様の生の声を聞くことで、ヒントを得ることができました。

- ・ 問題意識を持っている人間がいることを知った。

- ・ 自分が関心を持つ分野について、現場の声、市民の方の素朴な疑問に触れることができ、今後の施策を考える上で大変有意義でした。また、この会をきっかけに、今後の交流

について発展が予想されることも、今日の大きな収穫でした。スタッフの皆さん、様々なご苦労があったと思います。どうも有難うございました。

・ 医療をテーマに現場の医者、患者の声が聞け、非常に有意義だった。「診療ガイドライン」「医師の再研修」「医療費のコスト意識を持つ(一人一人が)」いずれも大切なことです。

・ 自分から行動しようとしている政府の方は恐縮ながらまだまだ少ない・・・と感じた。しかし、このような会をやるとうとする勇気ある行動に、新しい時代の先触れを感じる。期待しています。

- ・ 話をきちんと聞く、その背景にある考え方を知る大切さ。
- ・ 日本人は考える力が必要。働く女性のネットワークが必要。
- ・ 自分で行動するしかない。

以上です。ご協力有難うございました。